

第15回 飯山市廃棄物減量等推進審議会 議事録

平成20年10月23日
市役所 31号会議室

○事務局（江尻係長）

それでは会長からご挨拶をお願い致します。

○小林会長

皆さんこんにちは。いよいよ今日は、今まで審議してきた答申の日となりました。最後という事もありますので、また良い意見等ありましたら出して下さい。よろしくお願い致します。

○事務局（江尻係長）

それでは、経過・情報交換に入らせて頂きたいと思います。9月23日の審議会以降、ごみ減量の集落懇談会でございますが、瑞穂の中組、県町と開催してきております。それ以降の懇談会の予定ですが、10月26日から12月7日までご覧のように予定が入っておりますので、それぞれ対応していきます。

9月28日の外様公民館でのダンボール堆肥づくり講習会の関係でございますが、資料の1から3ページに開催した様子を載せさせて頂きました。外様公民館でも玄関の掲示板で、参加されなかった方にもPRしています。

それから、10月ですが、上町でモデル地区の講習会を行ってきておりますが、8月の欠席者を対象に実施してきております。

5日には第14回消費生活展という事で、約300名に会場いただきました。4ページに開催状況の写真を載せてあります。

それから、18日ですが、環境セミナーの一環で、文化人類学者・環境活動家であります明治学院大学教授の辻信一先生の講演会を開催してきていますところでございます。

26日の日曜日には、冬場の生ごみ減量を目標に、上町でダンボール堆肥講習会の参加者を募集していたところでございますが、24人の申し込みという事で開催致します。

11月9日には、常盤地区でも同じ様にダンボール堆肥の講習会をやりたいという申込がありまして、対応を整えたところでございます。

それから、モデル地区として講習会等を開催してきました、上町のごみの量の結果ですが、6ページをご覧頂きたいと思います。数値から単純に計算すると約1割程度の減になっております。

経過等は以上でございます。

○丸山アドバイザー

上町のごみの数量は約8.4%の減量ですが、浅野さんや常田さんから見て、一生懸命やっても2割の減量というのは難しい事ですか。それとも今のまま続けていけば2割は達成できそうだと思いますか。今回のモデル地区では、ただ説明しただけでも、ごみがこれだけ減ったということですが。

○浅野委員

達成できると思います。ただ、今回はもっと減るかなと思っていたのですが、そんなに簡単にいくものではないなと思いました。

○丸山アドバイザー

説明以外にも違う事を繰り返しやっていく必要があるという事ではないですか。

○常田委員

説明してきた結果だなと思いました。1割近くも減ったという事は立派な事だと思いません。区民の協力のお陰だなとも思いましたし、これが区民の中で話題になっていくようになれば、もっと減るんじゃないかと。失敗した方法や、成功した方法が話題になってくればもっと良くなるのではないかと思います。

○丸山アドバイザー

事業系についてはどうなりましたか。以前に清水さんと表先生に講演して頂いたようですけれど、まだ事業系のごみについては非常に事業所の関心が薄いという事で、各業種別に説明会を開くという方向になっていました。それについて今後の取り組みの中にも具体的なものが無いけれども、まだやっていないなら是非取り組んで頂きたいと思います。

○事務局（市村課長）

事業系については、民宿関係者への説明会も含め、春から開催してきております。

多量排出事業所については、現在、各事業者の廃棄物管理責任者を報告して頂いております。それと同時に各事業所でごみがどれだけ出ているかを把握して頂くお願いと、来年からは減量計画書を出して頂く旨をお願いしているところです。

○丸山アドバイザー

家庭系が60%、事業系が40%ですから、同時にやっていけば、最終的には家庭系よりも減ると思いますから、是非取り組んで欲しい。お願いしたいと思います。

○水野委員

今日ここに出ているのは上町だけですが、収集業者などから、ごみが減ったとかそういう話は聞かないですか。もしあるようであれば。

○事務局（市村課長）

クリーンセンターに入ったごみの量の集計を見ますと、8月くらいまでは良いペースで減ってきていたのですが、9月分が増えてしまっています。原因ははっきり掴めておりません。トータルでは、前年度対比で98.8%とあまり思わしくない数値です。5月が前年度対比約9%減っておりまして、それ以降も4~5%ずつ毎月減ってきていましたので、良いかどうか思っていたのですが、分析した上で何か対策をしていかなければと思っています。

○小林会長

それでは審議に入りたいと思います。答申書の最終確認について、何かご意見がありましたら。それでは簡単に読み上げたいと思います。

【答申書の確認】

○小林会長

何かご意見はありますでしょうか。

○丸山アドバイザー

良いですか。廃棄物減量等推進委員会ですけれど、審議会ではない様書いてありますが、審議会とは違うのですか。

○事務局（市村課長）

審議会はこれで答申を頂いたという事で終了しますが、それから先の推進をしていく、推進をしながら計画を見ていくという意味での推進委員会です。

○丸山アドバイザー

推進審議会は、必ずしも市が諮問したものだけに対して答申するのではなくて、常に審議会が存在して、問題が出た時に審議するためにあるのではないかと思って聞いているのです。今回の答申はこれは良いと思います。別の問題として、審議会というのは行政の中にいつもあるべきではないかという事なんですよ。

○事務局（山田部長）

必要に応じて設置するという様に考えて貰えば良いと思います。他にも色々な行政施策の中で今仰られた意味合いのような審議会はございます。問題が発生した時に委嘱して、いわゆる諮問をしてからも途切れる事無く続いている審議会もございますし、答申してその場は一旦終わって、また問題が出た時にという審議会もございます。

○丸山アドバイザー

法律や条例の解釈で言えば常設して置くべきではないですかという事なんですよ。

○事務局（山田部長）

必要な時に、必要な対策をとという事です。

○丸山アドバイザー

だったら必要な時に任命して審議会を開くという様に文章を直して欲しいな。

○事務局（山田部長）

その都度、条例を改定しなければいけない様では困りますので、条例の文面上は必要に応じてという事で、他の審議会もそうしておりますので、とりあえずは審議会をこれでおさめまして、それでまた審議会での審議が必要になれば委嘱をお願いをしていくという事です。

○事務局（江尻係長）

最初に申し上げませんでしたでしたが、本日欠席の表アドバイザーと清水委員さんですけれども、何とか出席したかったのですが他の業務と重なってしまって他の申し訳ないというお言葉を頂いております。栗田アドバイザーさんも、当初から都合が付けばという事であったわけですが、最後まで都合がつかなくて大変申し訳ありませんでしたというお言葉を頂いております。よろしくお願い致します。